

H27

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	13001	男女共同参画の啓発推進		作成日	H27.4.1		更新日	H28.7.19
担当部署	160200	地域づくり推進部 男女共同参画室		責任者	藤田一郎太		担当者	藤田一郎太
取組年度	H23	～	H27					
効果	その他改善							
最終目標	男女共同参画推進のための啓発事業を市民と協働で実施する。平成17年から21年度までの啓発事業への若い世代の参加割合の平均は17.2%と低調であるが、高齢社会に対応した男女共同参画の推進には若い世代の参画が不可欠である。また、平成22年度の事業仕分けにおいて、若い世代や男性に向けた啓発に取り組むべきと指摘を受けた。今後、性別にとられない家事・子育て・介護などの家庭生活や社会活動への理解を深めるために、男性とこれからの社会を担う若い世代に広く啓発することで、ワーク・ライフ・バランスの推進を目指す。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	進んでいる	講演会講師を子育て世代に依頼したり、分科会の内容も若い世代や男性が参加しやすいものを用意するなど、企画や啓発内容の工夫に努めた。						
平成24年度	計画どおり	子育てに関する講演会を保育付きで開催した。分科会に父親が中心となって活動している団体等が参画し、交流の場を持つことができた。						
平成25年度	遅れている	参加者自体は大幅に増加したが、若い世代の参加は前年度と比べ減ってしまった。						
平成26年度	遅れている	若い世代の参加は大幅に増えたものの、計画値にはいたらなかった。						
平成27年度	計画どおり	若い世代の参加は大幅に増えたものの、計画値にはいたらなかった。						
成果指標	指標名	啓発事業への若い世代の参加割合				単位	%	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0	50.0	
	実績値	23.0	33.8	21.9	30.4	43.5	43.5	
効果額	歳入増加	計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	計画額						0
		実績額						0
	計	計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	今まで参加が少ない男性や若い世代に、直接、ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画について、理解促進を図ることができる。							

H27

## アクションプラン(平成27年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	13001	男女共同参画の啓発推進	作成日	H27.4.1	更新日	H28.7.19		
担当部署	160200	地域づくり推進部 男女共同参画室	責任者	藤田一郎太	担当者	藤田一郎太		
		区分	取組内容・目標					
平成27年度	計画どおり	若い世代の参加は大幅に増えたものの、計画値にはいたらなかった。						
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	市民意識調査結果の分析		○					
2	男女共同参画センター設立等に向けての啓発事業の検討		○	○	○	○		
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	男女共同参画の意識調査を通じて市民の意識を把握することが出来た。現在、新しい計画の策定を行っているほか、男女共同参画センター設立に向けての啓発事業の検討を行っている。				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	啓発事業への若い世代の参加割合	計画値	単位 50.0	% %	実績値	単位 43.5	% %
	達成状況【成果】	未達成	コメント	今年度は講演会の講師が若者に人気のあった講師であったことから比較的若い世代からの応募はあったが、計画値にはいたらなかった(応募状況)。男女共同参画については、男女共同参画というテーマで人を集めることは難しいので、参加者の年齢層を決定するのは講師によるところが大きい。今後、男女共同参画センターを開設するに当たって講座や研修の内容で若い世代を集めることができるかが大きな課題になる。				
	進捗状況【活動】	計画どおり						
	計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント				
計画値								
評価	評価者	高橋 直資	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	若者をターゲットした取り組みにより数字的には改善がみられた。しかし、この事業においては、根気強く地道な取り組みが必要と考えられ、更なる創意工夫を凝らし事業を継続してもらいたい。				
	方向性	継続実施						

H27

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	13002	審議会等への女性の登用促進		作成日	H27.4.1		更新日	H28.3.31
担当部署	160200	地域づくり推進部 男女共同参画室		責任者	藤田一郎太		担当者	藤田一郎太
取組年度	H23	～	H27					
効果	その他改善							
最終目標	審議会等の委員は男性が多い状況であるが、男女共同参画の視点から、政策・方針決定過程に男性と女性の双方が参画できるように審議会等で女性委員の割合が35%となることを目指す。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	進んでいる	関係各課との連携により、平成23年10月1日現在で、計画値31%を達成した。						
平成24年度	計画どおり	関係各課との連携により、平成24年10月1日現在で、概ね計画どおりとなっている。						
平成25年度	計画どおり	関係各課との連携により、平成25年10月1日現在で、計画値を達成した。						
平成26年度	その他	関係各課との連携により、平成26年10月1日現在で、計画値を達成した。						
平成27年度	遅れている	平成27年10月1日現在で34.9%とわずかに計画値に届かなかった。						
成果指標	指標名	審議会等における女性委員の割合				単位	%	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0	35.0	
	実績値	31.0	31.7	35.4	35.0	34.9	34.9	
効果額	歳入増加	計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	計画額						0
		実績額						0
	計	計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	政策・方針決定過程に男性と女性の双方がバランスよく参画することで、柏市の男女共同参画を推進する効果がある。		政策・方針決定過程に男性と女性の双方がバランスよく参画することで、柏市の男女共同参画を推進する効果がある。		政策・方針決定過程に男性と女性の双方がバランスよく参画することで、柏市の男女共同参画を推進する効果がある。		政策・方針決定過程に男性と女性の双方がバランスよく参画することで、柏市の男女共同参画を推進する効果がある。	

H27

## アクションプラン(平成27年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B			
番号・取組事業名	13002	審議会等への女性の登用促進	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31			
担当部署	160200	地域づくり推進部 男女共同参画室	責任者	藤田一郎太	担当者	藤田一郎太			
	区分	取組内容・目標							
平成27年度	遅れている	平成27年10月1日現在で34.9%とわずかに計画値に届かなかった。							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	審議会等の登用状況の把握			○					
2	選任時期に向けた登用への理解促進					○	○		
3	子育て世代の登用促進のため、会議時における保育提供の周知			○			○		
4	会議における保育の提供			○	○	○	○		
5	平成28年度以降の保育の提供方法の検討			○	○	○	○		
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
	上半期	進捗状況	遅れている	コメント	行政改革推進課を通じて登用状況を把握することはできた。また、保育の提供を行うことで子育て世代の登用促進に寄与することも出来たが、個別の審議会への働きかけは行っていない。				
進捗・実績									
	年度末	成果指標名	審議会等における女性委員の割合	計画値	単位	%	実績値	単位	%
					35.0		34.9		
		達成状況【成果】	未達成	コメント	実績値は34.9%とわずかに計画値に及ばなかった。公募委員については、行政改革推進課が新たに名簿登録制を導入したので、今後とも連携をとって進めていきたい。				
		進捗状況【活動】	遅れている						
	計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント					
		計画値							
評価	評価者	高橋 直資	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	C	コメント 指示事項	審議会等への女性登用については、年々改善されてきたところであるが、平成27年度の実績においては前年度の割合を下回る結果となった。このことについて原因を追求し、全庁的に徹底した取り組みが必要である。					
	方向性	取組み強化							



H27

## アクションプラン(平成27年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	A
番号・取組事業名	13003	市民大学事業	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31
担当部署	160300	地域づくり推進部 協働推進課	責任者	石橋 良夫	担当者	三小田 雄亮
		区分	取組内容・目標			
平成27年度	計画どおり	講座を継続した。				
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	市民大学の運営管理(推進委員会の開催, 進捗管理, 次年度クラスの決定等)		○	○		○
2	平成27年度開講クラスの運営		○	○	○	○
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
進捗						
上半期	進捗状況	進んでいる	コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月に開催した公開講座「柏スムーズを作ろう」では、予想を上回る申し込みと、親子から高齢者まで多世代の参加を促せたのは成果である。</li> <li>・推進委員会については、6月の開催を延期し、10月に第1回目を開催した。なお、議会の関係で10月上旬に変更となったが、当初の予定通り、次年度クラス及び公開講座の企画素案を発表した。</li> <li>・クラスの実施期間やコーディネーター及びアドバイザーの選定には、再検討が必要であると感じた。</li> </ul>		
進捗・実績						
年度末	成果指標名	地域活動等に参加する新たな人材の発掘	計画値	単位 100	実績値	単位 160
	達成状況【成果】	達成	コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月5日に第4・5期生研究発表会及び修了式を終え、合計20名の修了生を輩出した。特に観光クラスの研究成果については、団体の立ち上げを視野に次年度の公開講座でモニターツアーを実施する予定。</li> <li>・第2回推進委員会を2月に開催し、次年度のクラス(国際観光・子育て)及び公開講座(観光ツアー)を発表した。</li> <li>・コーディネーター及びアドバイザーの選定については、柏市民協働支援員や大学連携等の人材を活用し、今まで以上に魅力的な講座づくりに努めていく。</li> </ul>		
	進捗状況【活動】	計画どおり				
	計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント		
	計画値					
評価	評価者	石黒 博	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする			
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	これまでの成果を踏まえ、事業の見直しを検討すること。		
	方向性	内容見直し				



H27

## アクションプラン(平成27年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	A			
番号・取組事業名	13004	地域づくり推進事業	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31			
担当部署	160400	地域づくり推進部 地域支援課	責任者	石橋 良夫	担当者	浦上 義史			
	区分	取組内容・目標							
平成27年度	計画どおり	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域を生かした事業実施や、地域課題解決等取り組みの支援をした。</li> <li>地域活動、市民活動等に新たに参加することを奨励するイベントを実施、また、冊子を作成した。</li> <li>地域づくり推進事業の実施の成果として、5年間で231人の人材発掘を行った。</li> </ul>							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	各コミュニティエリアにおける地域課題解決型事業実施の支援			○	○	○	○		
2	地域活動支援補助金事業の充実			○	○	○	○		
3	地域づくり推進に係る意識啓発					○	○		
4	実施事業の分析、先進事例情報収集・発信			○	○	○	○		
5	地域組織と行政の関係性の見直し			○	○	○	○		
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	取組項目1について、地域づくりコーディネーターが各地域と連携し人材発掘や住民参加の取り組みを支援している。取組項目2について次年度に向けた制度改革を終了し、11月以降町会等への周知、受付を開始する。取組項目5としては、地域診断カルテを今年度2地域で作成することとして、準備を進めている。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	地域活動等に参加する新たな人材の発掘		計画値	単位	人	実績値	単位	人
					60		56		
	達成状況【成果】	未達成		コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペレニアル花倶楽部、ガーディアンハート等の講座から活動に発展した事例はあるものの、趣味の延長にならないよう、参加者への地域活動の意識付けが必要。</li> <li>・平成27年度は地域活動をテーマとした講座を複数回開催したものの、参加者は自己啓発の延長に留まりがちであり、地域活動への参画へ誘導する方策の難しさがあった。</li> <li>・オヤジイノベーション、増尾探検隊、サロンド富勢及び高柳多世代交流地縁のたまご等既存の地域活動への新規参加者は少数ながら生まれてきており、引き続き地域の課題解決を目指した活動の中から地域活動への参画者発掘を継続する。</li> </ul>				
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容			コメント					
	計画値								
評価	評価者	石黒 博		※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B		コメント 指示事項	成果指標を再検討し、取り組み方法を工夫すること。				
	方向性	内容見直し							

H27

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	13005	ストップ温暖化サポーター事業等の推進		作成日	H27.4.1			
担当部署	080500	環境部 環境政策課		責任者	原田明廣			
取組年度	H23	～	H27					
効果	歳出削減		その他改善					
最終目標	<p>温暖化防止対策を推進するため、市民が活動している「かしわ環境ステーション運営協議会」や「ストップ温暖化サポーター」が主体で行っている温暖化対策事業の拠点となる『地球温暖化防止活動センター』を設置するとともに、柏市の温暖化対策を集約したWEBサイトを構築し、市民の参画・参加を得ながら普及啓発を図る。</p> <p>センター立上時には、柏市環境保全協議会などの事業者会員加入により、市の委託料が削減できる80会員×2千円＝160千円</p>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	計画どおり	「かしわ環境ステーション」や「SOS事業」で実施されている温暖化防止対策事業に加え、センター設置時に必要となる温暖化防止の専用WEBサイトを立ち上げた。						
平成24年度	計画どおり	温暖化防止活動団体の活動事業充実						
平成25年度	計画どおり	センターの開設と温暖化防止活動の推進						
平成26年度	計画どおり	温暖化防止活動の推進						
平成27年度	計画どおり	温暖化防止活動の推進						
成果指標	指標名	温暖化防止の普及啓発事業の回数				単位	事業数	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	10	10	20	25	30	30	
	実績値	12	10	8	7	12	12	
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額	0	0	160	160	160	480
		実績額	0	0	160	140	154	454
	計	計画額	0	0	160	160	160	480
		実績額	0	0	160	140	154	454
	見込まれる その他効果 (金額以外)		柏市の温暖化活動及び各団体の活動状況の提供並びに市民が温暖化防止活動から情報提供を得る	温暖化防止活動団体の充実を図る。	カーボンオフセット制度の導入など新たな取組により、家庭等から排出される温室効果ガスの削減が見込まれる	カーボンオフセット制度の導入など新たな取組により、家庭等から排出される温室効果ガスの削減が見込まれる	カーボンオフセット制度の導入など新たな取組により、家庭等から排出される温室効果ガスの削減が見込まれる	

H27

## アクションプラン(平成27年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B			
番号・取組事業名	13005	ストップ温暖化サポーター事業等の推進	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31			
担当部署	080500	環境部 環境政策課	責任者	原田明廣	担当者	環境政策			
		区分	取組内容・目標						
平成27年度	計画どおり	温暖化防止活動の推進							
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月			
1	かしわ環境ステーション各種環境学習講座の実施		○	○	○	○			
2	ストップ温暖化サポーター出前講座			○	○	○			
3	ストップ温暖化サポーター緑のカーテン普及啓発事業		○	○					
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	かしわ環境ステーションによる環境学習講座は、順次実施している。 ストップ温暖化サポーターによる出前講座は、MASUOプラチナ会(5/21)と環境教育・学校園部会(8/18)の2回実施し、緑のカーテンについては、育て方講習会(5/15, 5/16)と育て方相談会(7/23)を実施した。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	温暖化防止の普及啓発事業の回数		計画値	単位	事業数	実績値	単位	事業数
					30			12	
	達成状況【成果】	未達成	コメント	温暖化防止活動団体である柏市ストップ温暖化サポーター及びかしわ環境ステーションの地球温暖化対策部会にて温暖化防止の普及啓発活動を行った。 特に平成27年度は新規事業の立ち上げや従来イベントの開催手法見直しにより、昨年度以上に充実した環境イベントを開催することができた。 しかしながら、目標達成には至らなかったため、今年度収集したアンケート結果等を参考に、より充実した普及啓発ができるよう事業の改善を図る。					
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント						
	計画値								
評価	評価者	関 秀樹	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	地球温暖化対策に係る市民向けの普及啓発を、各主体と協力しながら実施することができたが、成果指標は達成することができなかった。					
	方向性	内容見直し		引き続き、地球温暖化対策を含めた環境に係る普及啓発を実施していく。					

H27

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B	
番号・取組事業名	13006	柏市生きもの多様性プランの推進		作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31
担当部署	080500	環境部 環境政策課		責任者	原田明廣	担当者	環境政策
取組年度	H23	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	『柏市生きもの多様性プラン』に基づく、生物多様性の保全、再生を目指す。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	進んでいる	生きもの多様性プランに沿った施策の実施					
平成24年度	計画どおり	生きもの多様性プランに沿った施策の実施					
平成25年度	計画どおり	生きもの多様性プランに沿った施策の実施					
平成26年度	計画どおり	生きもの多様性プランに沿った施策の実施					
平成27年度	計画どおり	生きもの多様性プランに沿った施策の実施					
成果指標	指標名	人里の生きものの種類・生き物多様性重要地区の保全状況				単位	種類数・状況
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	動物153種 植物196種	動物153種 植物196種	動物153種 植物196種	動物153種 植物196種	動物153種 植物196種	動物153種 植物196種
	実績値	動物153種 植物197種	動物153種 植物197種	動物153種 植物196種	動物153種 植物196種	動物153種 植物196種	動物153種 植物196種
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	生きもの多様性を保全できる環境を将来にわたって有することであり自然からの恵沢を将来に継承できる。						

H27

## アクションプラン(平成27年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B	
番号・取組事業名	13006	柏市生きもの多様性プランの推進	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31	
担当部署	080500	環境部 環境政策課	責任者	原田明廣	担当者	環境政策	
		区分	取組内容・目標				
平成27年度	計画どおり	生きもの多様性プランに沿った施策の実施					
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1	増尾の森管理, 観察会の実施		○	○	○	○	
2	フットパスのルートを検討・作成		○	○	○	○	
3	生きもの多様性重要地区の継続調査とカルテ作成		○	○	○	○	
4	柏の自然と生きものフェスタ, 講座の開催		○	○	○		
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	増尾の森については, 観察会を実施した。フットパスのルートは, 関係課や関係団体とともに検討中である。生きもの多様性重要地区の継続調査とカルテ作成を進めている。生きものフェスタ, 講座についても順次開催し, 今後も計画通り実施する予定である。			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	人里の生きものの種類・生き物多様性重要地区の保全状況		計画値	単位 動物153種 植物196種	実績値	単位 動物153種 植物196種
	達成状況【成果】	達成	コメント	増尾の森に関しては, ホタル観察会を計画通り実施した。フットパスについては, 関係課や関係団体とともに検討し, コース及び実施形式については確定した。来年度当初にはマップの作成予定である。生きもの多様性重要地区のカルテについても作成した。生きものフェスタは市内各所で10企画を実施した。生きもの講座についても計画通り実施した。			
	進捗状況【活動】	計画どおり					
	計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント			
計画値							
評価	評価者	関 秀樹	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	柏市生きもの多様性プランに係る施策は, 市民団体(NPOなど)と協力しながら実施することができたが, (仮称)生きもの多様性重要地区候補地の一部については, 保全ができなかった。この反省に基づき, 今後は, 新たに策定した谷津保全指針を実行していくとともに, 自然環境調査の結果を踏まえた計画の見直しを検討していく。			
	方向性	継続実施					

H27

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B	
番号・取組事業名	13007	消防団運営事業		作成日	H27.4.1		
担当部署	400100	消防局総務課		責任者	椎名 正浩		
取組年度	H23	～	H27	担当者	消防団担当		
効果	その他改善						
最終目標	「自らの地域は自ら守る」という郷土愛護の精神に基づき、市民の安心・安全を守るための組織の確立。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	計画どおり	団員による新たな担い手募集活動により、条例定数は確保が出来た。広報かしわ、消防局HPにより消防団への理解の促進が進み、救命サポート隊の活動による応急手当指導の普及促進が図られた。					
平成24年度	計画どおり	東日本大震災を教訓に消防団の必要性が再度見直されTVやラジオ消防局HPやポスターパンフレット等の活用また救命サポート隊の応急手当指導が増えたことにより住民へのPR活動ができた。					
平成25年度	計画どおり	女性消防団員14名の採用を決定した。訓練、行事等の消防団活動について消防局HP、ツイッター等を活用しPRを図り、救命サポート隊の積極的な応急手当指導の展開に努めた結果、応急手当の普及促進が図られた。					
平成26年度	計画どおり	条例定数の確保、各種消防団活動の広報（PR）の充実、救命サポート隊による救命率の向上					
平成27年度	計画どおり	女性消防団員が全国女性消防操法大会に出場したことにより、消防団の活性化、消防団の知名度の向上に貢献し、消防団活動の充実が図られた。					
成果指標	指標名	消防団員の定数確保				単位	人
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	617	617	631	631	631	631
	実績値	617	617	631	627	630	630
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
	見込まれる その他効果 (金額以外)	消防団員数の確保による、災害に強いまちづくり・ひとづくりの向上	同左	女性消防団員の採用による災害等地域住民への対応の向上	女性消防団員を活用した活動による市民の安心安全の向上	女性消防団員の事業拡大による消防団組織の活性化により、地域の安心安全の向上	

アクションプラン(平成27年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	13007	消防団運営事業	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31		
担当部署	400100	消防局総務課	責任者	椎名 正浩	担当者	消防団担当		
	区分	取組内容・目標						
平成27年度	計画どおり	女性消防団員が全国女性消防操法大会に出場したことにより、消防団の活性化、消防団の知名度の向上に貢献し、消防団活動の充実が図られた。						
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
1	消防団と自主防災組織との協働化の推進			○	○	○	○	
2	消防団と事業所の協力体制の推進(消防団協力事業所表示証交付)			○	○			
3	消防団協力事業所表示証に関するPR(推薦及び募集)			○	○	○	○	
4	消防団活動の広報(PR)の充実(柏市消防団年間事業の情報提供)			○	○	○	○	
5	救命サポート隊による応急手当(普通救命講習含)の普及率向上			○	○	○	○	
6	女性消防団員活動の充実			○	○	○	○	
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	・消防団の年間行事(上半期分)を計画的に進め、消防局HP、市広報紙等により、積極的に消防団のPR活動を推進した。				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	消防団員の定数確保	計画値	単位	人	実績値	単位	人
				631		630		
	達成状況【成果】	一部達成	コメント	消防団の活動は、年間を通して計画通り達成、また女性消防団員が全国女性消防操法大会に出場したことにより、消防団の活性化及び市民への消防団PRに大きく貢献した。 各分団の団員確保は、少子高齢化、サラリーマン化、また地域の諸事情により団員確保に苦慮しているが、引き続き消防団員の入団促進のため、消防局HP、各種消防イベント等で消防団のPR活動を積極的に図っていききたい。				
	進捗状況【活動】	計画どおり						
計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント					
	計画値							
評価	評価者	木村 誠寿	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	消防団の活動環境を充実させるとともに、引き続き消防団員の入団促進のため、消防局HP、各種消防イベント等で消防団のPR活動を積極的に図ること。				
	方向性	継続実施						

H27

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	13009	市民との協働による講座の企画		作成日	H27.4.1		更新日	H28.3.31
担当部署	281100	生涯学習部中央公民館		責任者	海老原謙一		担当者	橋本 敏之
取組年度	H24	～	H27					
効果	その他改善							
最終目標	<p>公民館には、個人の要望や社会の要請に応える(教育基本法第13条)「ことができるよう、多種・多様な事業を展開することが求められているが、厳しい財政状況のなかで、新しい時代を切り拓く生涯学習を推進していくためには、少ない費用で質の高い事業を行う、いわゆるコストパフォーマンスを高めていくことが必要である。また、学習機会の提供事業(講座)には、市民が主体的に地域の課題の解決に取り組み、市民相互の仲間づくりや支えあう機運を醸成していくことが求められている。</p> <p>「市民との協働」は市政運営の主要な柱であるが、公民館事業はまさに協働事業としやすい分野であり、より効果的に実施できる分野である。このため、関係機関や団体との連携や参画機会を拡大し、市民が意欲的に取り組める学習環境の充実を図るとともに生涯学習事業をまちづくりにつなげていくことを目指す。</p>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度								
平成24年度	計画どおり	協働、連携の情報収集を進めることにより、地域課題の精査を図った。						
平成25年度	計画どおり	協働、連携の情報収集を進めることにより、地域課題の精査を図った。						
平成26年度	計画どおり	協働、連携の情報収集を進め、地域課題の精査を図った。						
平成27年度	計画どおり	協働事業として、関係機関、サークル等と連携し、子育てに関する講演会、親子を対象とした講座及び現代的課題をテーマに講座を開催した。						
成果指標	指標名	連携事業実施回数				単位	回	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値		3	3	3	3	3	
	実績値		4	5	6	8	8	
効果額	歳入増加	計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	計画額						0
		実績額						0
	計	計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	市民団体等との調整や事業の見直しを通して、公民館の果たすべき機能を再確認及び重点化できる。							スピード・コスト・成果を重視する「行政改革」の目的意識を持って業務に取り組む職員の育成

H27

## アクションプラン(平成27年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B			
番号・取組事業名	13009	市民との協働による講座の企画	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31			
担当部署	281100	生涯学習部中央公民館	責任者	海老原謙一	担当者	橋本 敏之			
	区分	取組内容・目標							
平成27年度	計画どおり	協働事業として、関係機関、サークル等と連携し、子育てに関する講演会、親子を対象とした講座及び現代的課題をテーマに講座を開催した。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	連携・協働事業(講座や教室)の企画内容を検討			○		○			
2	連携・協働が可能な団体・組織との折衝と合意形成(企画内容や目的)			○		○			
3	実施に至るまでの役割分担を確認			○		○			
4	講師の依頼			○		○			
5	連携・協働事業の周知			○		○			
6	連携・協働事業の開催(事業のアンケート調査)				○		○		
7	アンケートの分析				○		○		
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<p>地域課題の精査・把握を行い、NPOや関係団体などと連携・協働して講座・講演会を実施。</p> <p>上半期は、柏市私立幼稚園協会と連携して家庭教育講演会を実施した。また、パソコンボランティアやNPOパートナーとうかつの協力を得て親子で参加できる体験教室を実施した。</p> <p>下半期は、わくわく人形劇まつりや子育て支援講座、また市民自主企画講座を予定している。</p>					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	連携事業実施回数		計画値	単位	回	実績値	単位	回
					3		8		
	達成状況【成果】	達成	コメント	<p>家庭教育事業では柏市私立幼稚園協会と連携した「家庭教育講演会」の実施、柏市に拠点を置く子育て支援団体の柏市子どもの文化連絡会やこどもスペース柏と連携した「親子ふれあい広場」、「わくわく人形劇まつり」や「子育て支援講座」を実施、NPOなど各種団体との連携を進め親子を対象とした体験教室などを実施し実績を収めた。</p> <p>地域づくり事業では、市民団体・サークル等から現代的課題をテーマに「市民自主企画講座」を公募し実施、地域で活動する団体への支援や連携を深めた。また、今年度は東葛北部在宅栄養士会と連携して成人を対象とした介護予防の講座を実施できた。</p>					
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	コメント							
	計画値								
評価	評価者	篠原 忠良	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	・多様な主体と連携・協力して魅力的な事業を拡大して下さい。					
	方向性	継続実施							

H27

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	13010	柏市猫の不妊去勢手術助成事業		作成日	H27.4.1		更新日	H28.3.31
担当部署	06170	保健所 動物愛護ふれあいセンター		責任者	石川 桂一		担当者	原田 友紀
取組年度	H24	～	H27					
効果	その他改善							
最終目標	市内で野良猫に関する苦情(近隣への糞尿等被害, 無責任な餌やりによる住民トラブル, 繁殖による猫の増加等)は後を絶たず, 保健所が受ける苦情の中で上位を占めている。また, 年間数百匹の野良猫の子猫が保健所に持ち込まれ, その多くが殺処分されている。それにも関わらず, 猫の場合は犬と異なり規制する法令等がないため, 餌やりの禁止や繁殖制限の手術等を強制することは出来ない。そこで, 野良猫を適正に管理する活動を行う団体(市が定める要件を満たす団体)に対し, 不妊去勢手術助成金を交付することにより, 望まれない命の誕生の阻止を図り, 猫に起因する問題を減らすことを最終目標とする。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度								
平成24年度	進んでいる	飼い猫及び地域猫(登録団体が管理する野良猫)に対する手術代の一部助成						
平成25年度	進んでいる	地域猫(登録団体が管理する野良猫)に対する手術代の一部助成						
平成26年度	進んでいる	前年度同様, 手術代の一部助成						
平成27年度	計画どおり	前年度同様, 手術代の一部助成						
成果指標	指標名	交付決定件数(匹数)				単位	件(匹数)	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値		120	150	180	170	170	
	実績値		197	201	174	175	175	
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額					0	
		実績額					0	
	計	計画額	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	
見込まれる その他効果 (金額以外)		野良猫に関する苦情数の減少	繁殖制限による子猫引取り数の減少, 野良猫に関する苦情件数の減少	繁殖制限による子猫引取り数の減少, 野良猫に関する苦情件数の減少	繁殖制限による子猫引取り数の減少, 野良猫に関する苦情件数の減少			

H27

## アクションプラン(平成27年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B
番号・取組事業名	13010	柏市猫の不妊去勢手術助成事業	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31
担当部署	06170	保健所 動物愛護ふれあいセンター	責任者	石川 桂一	担当者	原田 友紀
		区分	取組内容・目標			
平成27年度	計画どおり	前年度同様, 手術代の一部助成				
取組項目			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1	新たな活動団体, 野良猫が問題となっている地域の発掘		○	○	○	○
2	既に登録されている団体への支援継続		○	○	○	○
3	「地域猫活動」の周知と啓発活動		○	○	○	○
4	今後どのような方法で事業を行うか, 有効な手段の検討		○	○	○	○
5						
6						
7						
8						
9						
10						
進捗						
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	当初の予定通り, 順調に事業継続中である。10月末時点で, 助成匹数 84匹, 助成金額 386,730円である。各地域猫団体からの助成申請も継続的に行われており, 効果的に事業が進行しているものとする。		
進捗・実績						
年度末	成果指標名	交付決定件数(匹数)	計画値	単位 170	実績値	単位 175
	達成状況【成果】	達成	コメント	今年度は計画値よりも実績値が上回り, 順調に事業が進行した。予算が多少残ったのは今年度が初めてであったが, これは周辺地域に野良猫の不妊去勢手術を安価で行う動物病院が増え, 1匹あたりの助成額単価が下がったためと考えられる。		
	進捗状況【活動】	計画どおり		この事業は長期的に継続することで, 一定の効果を持続的に得られる性質であるため, 今後も展開していく必要がある。		
	計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント		
計画値						
評価	評価者	山崎 彰美	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする			
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	この事業は市民との協働により動物愛護の推進とともに地域の生活環境の保全に寄与するという目的もあり, 全国の多くの自治体が取り組みを進めているところである。地域に生息する野良猫が多いことから長期的に本事業を継続することが必要と考える。		
	方向性	継続実施				

H27

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	13011	防犯灯のLED化推進事業		作成日	H27.4.1		更新日	H28.3.31
担当部署	160400	地域づくり推進部地域支援課		責任者	松山 正史		担当者	浦上 義史
取組年度	H26	～	H27					
効果	歳出削減		その他改善					
最終目標	町会等が設置・管理を行っている防犯灯を省電力、長寿命のLED灯に交換することにより、今後の防犯灯の維持管理補助金（電気料金相当）の削減、温室効果ガスの排出削減及び町会の経済的・人的負担軽減を進めるため、平成27年度において、LED化されていない防犯灯をリースにて全灯LED化を実施予定。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度								
平成24年度								
平成25年度								
平成26年度	進んでいる	LED灯具支給方式の導入により、交換コストの削減をはかり、普及を促進した。						
平成27年度	進んでいる	非LED灯約20,400灯について一括リース事業により約20,000灯をLED化し、LED化率99%を達成した。						
成果指標	指標名	LED防犯灯の普及率				単位	%	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値				30	45	45	
	実績値	3	8	17	37	99	99	
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額				5,141	8,226	13,367
		実績額				5,372	13,549	18,921
	計	計画額	0	0	0	5,141	8,226	13,367
		実績額	0	0	0	5,372	13,549	18,921
見込まれる その他効果 (金額以外)					温室効果ガス 146tの削減	温室効果ガス 183tの削減		

H27

## アクションプラン(平成27年度)

推進項目	13 市民との協働の推進				重要度	B			
番号・取組事業名	13011	防犯灯のLED化推進事業	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31			
担当部署	160400	地域づくり推進部地域支援課	責任者	松山 正史	担当者	浦上 義史			
	区分	取組内容・目標							
平成27年度	進んでいる	非LED灯約20,400灯について一括リース事業により約20,000灯をLED化し、LED化率99%を達成した。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	各町会等からリースによるLED防犯灯申請書兼同意書の提出			○					
2	公募型プロポーザルによる業者選定			○					
3	LED防犯灯改修工事				○	○	○		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
	上半期	進捗状況	遅れている	コメント	業者選定まで日程通り事業が進行していたが、契約締結までの間、協議等に時間を要したことにより、LED改修工事の日程がずれ込み、10月より改修工事が開始されることとなった。ずれ込むことによって、リース開始日の変更することはない。				
進捗・実績									
	年度末	成果指標名	LED防犯灯の普及率	計画値	単位	%	実績値	単位	%
		達成状況【成果】	達成	コメント	45		99		
		進捗状況【活動】	進んでいる		市による一括リース方式により、防犯灯LED化を大幅に推進し、普及率99%を達成した。リースの一部対象外となる防犯灯もあったため、次年度以降、補助金を用いたLED化を町会等に促していく。				
		計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント				
		計画値							
評価	評価者	高橋 直資	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	A	コメント 指示事項	市による一括リース方式を採用することで防犯灯LED化を大幅に推進し、期待を上回る成果を収めることができた。未実施分については町会への周知に努め、早期の普及率100%を達成を期待する。					
	方向性	継続実施							